



世間でインフルエンザが流行っていると聞いていますが、まだ臼井幼稚園には流行の兆しがありません。これも保護者の皆さまのご協力のおかげ、そして子ども達が毎日教室で行なっている“あいうべ体操”の効果、園庭遊びの後のお塩リクエスト（ミネラル補給）の効果が見られているのかな、と思います。このまま健康でいてくれたら、何より嬉しいことです。

ご報告です。ご存じの方も既に多いと思いますが、にじ組の担任渡辺由佳が体調不良により、今の予定では3月まで休職することになり、伊東恵理が担任を担っています。

発表会の劇遊びが始まったばかりで、にじ組は担任がお休みとなって、急遽劇を変更しました。本当にありがたいことに、子ども達はともしなやかに、その変化に対応してくれました。にじ組の劇は「一休さん」で、異例の速さで最後まで仕上がりました。。恐るべし伊東恵理ですね。

臼井幼稚園の発表会は、発表会に限らず、臼井幼稚園の保育は担任のペースで教えていくものではないので、最初はなかなか進まないことがあります。今年も例年に違わず、子ども達は1曲終わると、次は？次を演じたい！と先へ先へと進みたがるのですが、表現の深まりを私たちは求めます。場面、場面での演技の定着が欲しいからです。スペースの使い方は二の次で、姿勢、ポーズが各々違うことを求めます。立っている子がいたり、座っている子がいることによって広がりができ、表現に深みが出てくるのです。子ども達の劇と侮るなかれ、劇遊びは芸術です。

年中、年長ともなると、劇中でとても細かいことに気付いて演じている子がいます。水の中に入るのに、袖をまくったり、冷たさを身体で表現したり。お客様に背中を向けて幕の中へ入って行く時も、最後まで背中で演じ続けるように指導しています。素の、“そら組の〇〇くん”が見えないように、伝えています。幼児にそこまで求めるのか？と問われたら、子ども達が応えてくれ、それ以上のものを見せてくれることがこれまでの経験上わかっているので、求めます、と答えます。幼児だから、と大人が手を差し伸べ、助け過ぎると、つまらない子に育ってしまいます。幼稚園の教育は劇遊びでも、一貫して子どもから学ぶ目線で行なっています。

発表会について毎年書いていることを今年もそのまま記載します。是非改めてご一読頂ければ幸いです。

<臼井幼稚園の発表会>

1学期、2学期で行なってきた、クリエイティブ・ムーブメント、リズム・バリエーション、描画、壁面製作、造形、音楽、言葉遊び、日直の当番発表まで、すべての保育活動の集大成です。

発表会では、子ども達と担任の弾くピアノのコラボレーション、その相乗効果は感動的です。教員達のピアノの技術は必ずしも上手とは言い難い者もいますが、それぞれの技術に相応しいピアノ曲を選び、5月頃から準備をしています。

<発表会の作品の作り方>

① 子ども達と一緒に作る作品

台本もなく、動きや表現を指導者が決め、子ども達に教える活動ではありません。だから「作品作り」と言っています。練習にはなりません。作品のタイトルと構成、選曲は担任が行ないますが、ひとつひとつの動きや台詞などは、年中や年長の場合、ほぼ100%子ども達からの提案とアイデアを取り上げています。満3歳児、年少児は台詞自体が無い、或いはあっても掛け声程度ですが、表現は子ども達がそれぞれの思いを作品の中で表しています。だから、子ども達は自分で作り上げているという意識を持っています。

② 全員が主役

臼井幼稚園の発表会では、全員が主役です。この時期に「主役がやりたい」という声は聞こえないはずです。

③ 普段の保育が経験になり、その延長線上に発表会があります。

朝の当番発表では自分のことを友達の前で話します。こうした日々の積み重ねが発表会に繋がります。積み重ねとは、練習の繰り返しではありません。新たに生じた問題や、初めて出会う局面で、どうすべきかの能力、「応用力」「生きる力」を育てることです。

<2ページへ続きます>

④ 年少での進め方

年少は、リズム・バリエーションを基本に作品作りをします。これはまだまだ表現能力が育っていないためと、年中、年長になって、より深い表現力を身に付けるための基礎能力になるためです。ステップは教師が作り、上体の表現は子ども達から引き出します。

年少の進め方は、子ども達の好きそうな、楽しそうな場面から始めます。子ども達の関心は必ずしも物語の最初ではありません。発表会の経験が無いから、子ども達が楽しめる場面から行なうことで、興味を高める効果が生まれます。また、年少でストーリーを追いつ過ぎると、子ども達の表現を十分に引き出せないからです。子ども達の好きな場面で、十分に表現を引き出すと、より意欲的に活動に参加してくれます。

園長 志田 裕美子

<担任から今月のメッセージ>

冬休みが終わり、3学期が始まりました。

「お休みに何してたの？」と聞くと、
「新幹線でおじいちゃん、おばあちゃんに会いに行った！雪で遊んだよー」「飛行機乗ったのー！」
「お餅沢山食べたんだー」と、楽しかったことを沢山話してくれました。

「クリスマスプレゼント、サンタさんからのプレゼント何だった？」の質問には、わあーと、私の側に皆んな集まり、

「私はね、〇〇もらったー！」僕はね！私はね！の聞いて聞いて！合戦になったので、

「待ってー！みんなのプレゼント聞きたいから、〇〇ちゃんから聞いてみようかな。」

「サンタさんから何を貰いましたか？」

朝の会のマイクで聞くと、1人ずつ「〇〇のおもちもらったー」「エルサのバグー」と、目をキラキラさせて教えてくれました。

久しぶりで、泣いちゃうかなあ？と思っていた子は笑顔で登園してくれたり、少し泣いてしまった子でも、すぐ切り替えて「〇〇ちゃん、遊ぼー！」と、お友だちと遊ぶなど、3学期も賑やかにスタートしました。

クラスでは発表会ごっこが始まりました。

今年は「バムとケロの空の旅」！

みんなも大好きで、絵本を読むと全員夢中になって聞き入るお話しです。

「バムとケロは、何を作るんだっけ？」と聞くと、みんな

「飛行機ー！！！」の大きな返事。

「じゃあ、みんなでバムケロになって、飛行機で冒険の旅へ出発ー！」と、始めました。

最初の場面は、大爆発する火山の中を飛行機で何とか逃げる場面からでした。火山って何だ？？？のみんな。

まず動画で「これが火山だよ！」と、みんなで山からボーボーと火が吹き出しているリアルな動画を見ました。「怖いねー！」と、少し声色を恐ーーい感じと言った後のみんなの顔が、.....

「怖いよー！」と半泣きの子まで。少し怖がらせてしまったかな？と反省でした。

しかし、その甲斐あってか、「火山の火は熱いから、皆んな隠れてー！飛行機で逃げるよー！」の声かけに、隠れたり、怖いーを全員が色々な表現で行なってくれています。

まだまだ途中ですが、1人ひとり発表会ごっこに全力です！どの場面もとっても可愛いみんな！発表会当日を是非お楽しみにしててください！

高橋 まりこ

